



「開国博Y150」会場で エコ・アクション・ポイントを貯めて抽選にチャレンジしよう！ ～7月18日(土)から、「開国博Y150」環境への取り組みとして実施します～

「開国博Y150」は、ヒルサイドエリア・竹の海原などの会場設営や、有料4会場で使用する電気に廃棄物発電(サーマルリサイクル)を利用するなど、制作・運営面から環境に配慮している、環境イベントです。このY150の環境への新たな取り組みとして、7月18日(土)から、ベイサイドエリア3か所に設置されたICカード用端末で、エコ・アクション・ポイント(EAP)を貯めて抽選にチャレンジすると素敵な賞品が当たる仕組みを導入します。

※ エコ・アクション・ポイント:環境省が推進するポイントシステムを活用した地球温暖化対策事業です。

- ◆ 横浜開港150周年記念テーマイベント「開国博Y150」では、環境に配慮したさまざまな取り組みの一環として、きたる7月18日(土)から PASMO・Suica・IC機能つき携帯電話 のいずれかを会場内に設置されているICカード用端末にタッチして エコ・アクション・ポイント(EAP)を獲得することにより、抽選で素敵な賞品が当たる仕組みを新たに導入します。
- ◆ この仕組みは、みなとみらい21SP推進委員会が主催する「タッチdeゲット MMさんぽ プレゼントラリー」のシステムを活用し、ベイサイドエリア3会場に既設されているICカード用端末でエコ・アクション・ポイント(EAP)が貯まる端末とするものです。3ポイント貯まると自動で抽選が行われ、素敵な賞品が当たります。
- ◆ さらに、ヒルサイドエリアで展開中の「竹と環境 A to Z」をエコ・アクション・ポイントのプログラムとして位置づけ、環境面からヒルサイドエリアとベイサイドエリアの会場間連携を行います。ヒルサイドエリアのEAP端末1か所にタッチするだけで「スペシャルカード」となり、ベイサイドエリアのEAP端末1か所だけで抽選ができるようになる、大変お得な内容です。
- ◆ 「開国博Y150」では、ヒルサイドエリア会場における大規模な竹の活用や、有料4会場で使用する電気に廃棄物発電(サーマルリサイクル)を利用するなど、環境に配慮した運営を行うとともに、ENEOS未来のエネルギー館(Y150はじまりの森)、アースバルーン「HOME」(Y150トウモロローパーク)、NISSAN Y150ドリームフロント&スーパーハイビジョンシアター、市民創発プロジェクト(ヒルサイドエリア)など、環境に対する理解を深めるイベントや展示を数多く実施して、環境メッセージ性の高いイベント展開を継続して行っています。これら環境への取り組みについて、EAP端末近くにパネルを展示することにより、来場される皆さまにわかりやすくご紹介してまいります。

※「Suica」は東日本旅客鉄道の登録商標です。「PASMO」は、株式会社パスモの登録商標です。

※この取り組みは、みなとみらい21SP推進委員会の協力により実施します。

※株式会社パスモ商標利用許諾 第18号(シナジーメディア株式会社 許諾)

※JR 東日本 Suica 利用承認 第22号(シナジーメディア株式会社 許諾)

※当該承認は(株)パスモが本商品・サービスの内容・品質を保証するものではありません。 ※当該承認は、東日本旅客鉄道株式会社が本商品・サービスの内容・品質を保証するものではありません。

※株式会社パスモの都合により、予告なくPASMO カードが交換されることがあります。

※東日本旅客鉄道株式会社の都合により、予告なくSuicaカードが交換されることがあります。

■「開国博Y150」エコ・アクション・ポイント概要

- 実施期間 2009年7月18日(土)～9月27日(日)
- 実施エリア ベイサイドエリア(3か所) ヒルサイドエリア(1か所)
- ポイントの仕組み
 - ① ベイサイドエリアに設置されたEAP端末に PASMO・Suica・IC機能つき携帯電話のいずれかをタッチすると、エコ・アクション・ポイントが獲得できます。(1タッチで1ポイント)
 - ② 3ポイント(3か所以上のタッチ)ごとに抽選が行われ、当選すると当選レシートが出てきます。
また、ヒルサイドエリアに設置されたEAP端末にタッチすると「スペシャルカード」となり、ベイサイドエリアの端末それぞれ1回のタッチごとに抽選ができます。
 - ③ 当選レシートで「開国博Y150」ベイサイドエリア・黒船レストランで使える割引券など、素敵な賞品と引き換えられます。
- 端末設置箇所

【ベイサイドエリア】 Y150はじまりの森:インフォメーション

NISSAN Y150ドリームフロント&スーパーハイビジョンシアター:入口

赤レンガ会場:「開国・開港の街」入口

【ヒルサイドエリア】 Y150つながりの森 竹の海原 会場内

<実施イメージ>

「開国博Y150」の環境への 取り組みを体験する

- ・取り組み説明パネル
- ・環境に関するコンテンツ など



3ポイントで
自動抽選

【賞品】

- 開国博Y150 はじまりの森
黒船レストラン1000円分お食事チケット 100名様
- 横濱ベイサイドライン
クイックビューイングコース乗車券 100名様
- ヨコハマペロタクシー乗車券 200名様
- ブルードットナイロンバッグ 300名様
- 海図レターセット 200名様

IC乗車券
などをタッチ



IC
乗車券

▲エコ・アクション・ポイント端末(イメージ)
※写真は現行のタッチdeゲット端末

▲エコ・アクション・ポイントが当選した場合の
レシート (イメージ)



<参考> 「タッチdeゲット MMさんぽ プレゼントラリー」について

「タッチdeゲット MMさんぽ プレゼントラリー」(主催:みなとみらい21SP推進委員会)は、みなとみらい地区11か所(ベイサイドエリア3か所を含む)に設置された端末を PASMO・Suica・IC機能つき携帯電話のいずれかをタッチして回ると、3ポイントごとに自動的に抽選が行われ、賞品が当たる「プレゼントラリー」です。

今回で4回目となり、ICカードを活用した大規模な地域共通の取り組みとして定着しており、この仕組みを活用してエコ・アクション・ポイントを実施します。

【問い合わせ先】 みなとみらい21SP推進委員会事務局 電話:045-633-9660(11:00~17:00)

<参考>

「開国博Y150」における「環境」への取り組み

開国博Y150では、環境メッセージを含んだ数多くのイベントや展示があります。会場づくりや制作運営面においても、横浜市策定の「CO-D030」や「ヨコハマはG30」と連携しながら、「環境」に配慮したさまざまな取り組みを行っています。

【ベイサイドエリア】

(1) Y150はじまりの森 / ENEOS未来のエネルギー館

大切なエネルギー資源と私たちの地球をテーマにした、体験型パビリオンです。地球環境にやさしい新たなエネルギーシステム家庭用燃料電池「エネファーム」などについて、実験を交えながら紹介します。



(2) Y150トゥモローパーク / アースバルーン「HOME」

地球環境を守ることの大切さ、人類が帰るべき故郷の惑星(HOME)は地球であるというメッセージを展開します。



(3) NISSAN Y150ドリームフロント&スーパーハイビジョンシアター

未来を担う子どもたちが地球のための「思いやり活動」について「気づき」「考え」「行動する」パビリオンです。



【ヒルサイドエリア】

(1) Y150つながりの森

・横浜の自然、特に懐かしい里山に触れ、自然の大切さを感じることができます。
(竹の海原、棚田・段々畑、60種の草花の花壇など)



・「竹の海原」はノン・コンクリート、ノン・エアコンパビリオンとして施工されており、環境負荷の少ない工法となっています。



・Y150つながりの森では、放置竹林により荒廃している貴重な里山を守るために、建築材としての竹の需要を生み出すとともに、竹の伐採による竹林管理を通じて里山の自然を再生させることを目的として竹の活用を行っています。また会期後は使用した竹を竹入りの紙としてリサイクルします。



(2) 市民創発プロジェクト

市民スタッフが企画して作り上げた、自然・環境、共生などの様々なテーマを持ったプログラムが展開されます。



【環境に配慮した会場づくり】

- ・会場の設営に当たっては、赤レンガ倉庫・大さん橋ホール・旧トリエンナーレ会場（新港ふ頭展示施設）などの既存施設を活用することにより、新たな会場建設を最小限に抑制し、環境負荷の低減に取り組んでいます。
- ・会場では空調設備の設置を最小限に抑え、ドライミスト（ベイサイドエリア）及びセミドライフォグ（ヒルサイドエリア）／緑化壁（Y150トゥモローパーク）／竹の日よけ・竹のフェンスによる通風の確保（ヒルサイドエリア）などを活用しています。
- ・会場で出るごみについては、エコステーション（分別ボックス）を設置しごみの分別を行っています。
- ・会場運営に当たっては、「横浜のイベントをエコにするネットワーク」と連携しています。



※横浜のイベントをエコにするネットワーク

横浜で開催される3つの花火大会の環境活動にかかわっている3団体（社団法人横浜中法人会、横浜市民活動支援センター運営委員会、Y150市民参加プラトホーム推進委員会）が呼びかけ人となり、2008年1月設立。「横浜のイベントでは、ごみを捨てる人がいない、環境への負荷をけない」という文化をつくることを目的とした関係者ネットワークです。

【会場運営面での環境への配慮】

(1) ECOな電力（廃棄物発電電力）で運営

- ・都市型イベントの特性を活かし、有料4会場で使用する電気には、横浜市資源循環局金沢工場の廃棄物発電（サーマルリサイクル）を使用します。博覧会での廃棄物発電の使用は画期的な取り組みです。

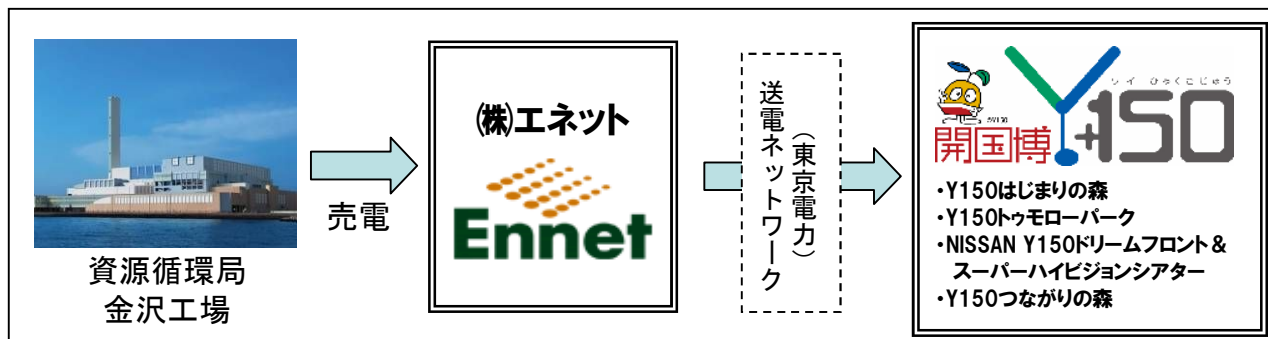
※有料4会場

【ベイサイドエリア】・Y150はじまりの森

・Y150トゥモローパーク

・NISSAN Y150ドリームフロント&スーパーハイビジョンシアター

【ヒルサイドエリア】・Y150つながりの森



(2) カーボンオフセット

Y150つながりの森においてカーボンオフセットを実施する予定です。